

# 子供たちの豊かな感性

日本コスモトピアが主催した『第4回わくわく文庫読書感想文コンクール』授賞式も行われた。

わくわく文庫とは、プロのナレーターの朗読を聞きながら本を読み進めていく読書支援教材。朗読速度も調整でき、速く朗読することによって、本を読む能力、日常会話の力を身につけられるというもの。この読書感想文コンクールは、読書推進のきっかけとなることを目的としている。

また、2014年から国際NGO「ルーム・トゥ・リード・ジャパン」と連携し、子供たちがわくわく文庫で本を読むと、日本コスモトピアからルーム・トゥ・リード・ジャパンを通じて、世界の諸国へ本を届ける取り組みも行っている。

例えば、バン格拉ディッシュとラオスに図書室が2

室と、現地語の児童書4400冊が届けられたそうだ。

コンクールの応募数は、年を重ねるごとに増加し、第1回は80作品だったが、今回は過去最高の620作品が集った。その中から、入選者、奨励賞、社長賞、審査員長特別賞、金賞(低学年部門、中学年部門、高学年部門各ひとり)、

そして大賞が選ばれた。

審査員長を務めた小説家の志茂田景樹氏は、「今の子供たちの感性というものは、すごく豊かで驚きました。しっかりとした読書眼を養っている

など、感想文を読んで感じました」と語り、受賞者一人ひとりに授賞理由を丁寧に語っていた姿が印象的だった。

最後に「これからもコスモトピアはいろいろな試みをしていきたいと思えます」下向氏が語り「自立学習学会2015」を締めくくった。



読書感想文の審査委員長を務めた小説家の志茂田景樹氏



620作品の中から見事大賞に選ばれた熊本県の中学3年生